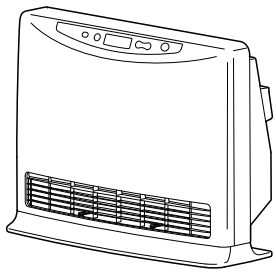
大阪ガス

ファンコンベクター(移動型)

取扱説明書 保証書付



品名コード	型式名
142-9402型	RHC-420G
142-9403型	RHC-620G

このたびはファンコンベクターをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

- ●ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。なお、取扱説明書は工事説明書と共に必ず保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- ●保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
- ●取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
- ●製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ●本文中のイラストは142-9403型です。

20834840 (K)

もくじ

		ページ
ご使用の前に	**安全上の注意(必ずお守りください)**	2
	各部のなまえとはたらき	
	本体外観図	8
	本体操作部	9
	本体表示部	9
	リモコン	10
	使用前の準備	
	リモコンの取扱いかた	11
	風向調節	11
運転のしかた	**お部屋を暖める**	
	風量自動運転	12
	風量手動運転	14
	速暖運転	15
	マイナスイオン運転	16
上手に使ってね	**本体表示部の明るさの切換え**	17
	おはよう(入タイマー)運転	18
	おやすみ(切タイマー)運転	19
	おはよう(入タイマー)運転、おやすみ(切タイマー)運転の組み合わせ	20
	チャイルドロック	21
	日常の点検・手入れ	
	お手入れの前に	22
	お手入れのしかた	
	本体	23
	リモコン	23
	エアフィルタ・空気清浄フィルタ	24
	マイナスイオン発生器	25
	点検のおすすめ	25
	シーズン前の準備	26
	空気清浄フィルタの取付け	27
	乾電池の入れかた	27
	現在時刻の設定	28
	温水プラグ・電源プラグの接続	29
	シーズン後のお手入れ	30
故障かな?	**故障かな?と思ったら**	32
	部品交換について	34
	仕　様	34
	保証・サービス	35
	保証書	巻末

安全上の注意(必ずお守りください)

●ご使用の前に、この「**安全上の注意**」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
●ここに示した事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。
いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。
お願い	警告、注意の項目以外で特に守っていただきたい内容を示しています。

●絵表示について次のような意味があります。

⃠	一般的な禁止	⃠	分解禁止	❗	必ず行う
⃠	水濡れ禁止	⚠	一般的な警告・注意		電源プラグを抜く
⃠	濡れ手禁止	♨	高温注意	⏚	アースを接続する

ページ は参考になるページです。

⚠警告(WARNING)

据付け時

●電源コードを切断して延長しない
電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。
絶対に電源コードを切断して延長しないでください。火災や感電の原因になります。

●電源はAC100Vを使用する(故障の原因)

使用時

●長時間、温風を体にあてない
低温やけどを起こすおそれがありますので注意してください。
特に体力のない病気のかた・乳幼児・お年寄りが使用されるときは周囲のかたが充分注意してください。

●運転中や停止直後に温水プラグや温水ゴム管を抜かない
温水が漏れてやけどをしたり、家財などを汚すおそれがあります。

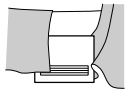
⚠警告(WARNING)

使用時

●スプレー缶厳禁
スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを温風のあたるところに置いたり、使用したりしないでください。
熱で缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。

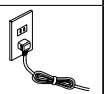
●温風吹出口や吸込口に指や異物などを入れない(けがの原因)
内部でファンが高速回転しています。
特にお子さまに注意してください。

●温風吹出口や吸込口をふさがない
衣類やカーテンなどで温風吹出口や吸込口をふさがないでください。
障害物があると正常な運転ができません。



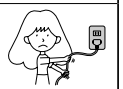
●延長コードの使用、タコ足配線はしない(火災・発熱・感電の原因)
延長コードを使用したり、他の電気器具とのタコ足配線をしたりしないでください。

●電源コードは束ねたままで使用しない(火災・発熱・感電の原因)



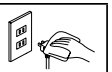
●電源コードは破損させない、加工しない
重いものを載せたり、加熱したり、加工したり、引張ったりしないでください。傷んだまま使用すると火災や感電の原因になります。

●電源コードを引張らない(火災や発熱の原因)
電源プラグを抜くときはプラグを持って行ってください。



●電源プラグを抜いて停止させない(火災や感電の原因)

●電源プラグのお手入れをする
ときどきは電源プラグを抜き、ほこりを除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。



●電源プラグは確実に差し込む
電源プラグを差し込む際は、電源プラグ側だけでなくコンセント側にもほこりの付着・つまり・がたつきがないことを確認し、刃の根元まで確実に差し込んでください。ほこりの付着・つまり・がたつきがあると火災や感電の原因になります。
コンセントにがたつきがある場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

安全上の注意（必ずお守りください）

⚠警告（WARNING）

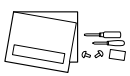
使用時

●やけどに注意
温風吹出口や前パネルは熱くなっています。特にお子さまが直接手や肌を触れないように注意してください。

●異常時使用禁止
運転を停止して電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。
そのまま運転を続けると火災や感電の原因になります。

移設・修理時

●分解・修理・改造をしない（火災・感電・漏電の原因）
故障や破損したときは、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。
修理はお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。



●温水コンセントの設置、移設、再設置はお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに相談する
お客さまご自身で据付けをされ、不備があると火災・感電・温水漏れの原因になります。

⚠注意（CAUTION）

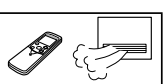
据付け時

●純正部品以外は使用しない（事故の原因）
事故防止のため**純正部品（指定された部品）**以外は使用しないでください。

●大阪ガス以外の製品と組み合わせて使用しない
必ず大阪ガスの熱源機・温水ゴム管・温水コンセント・温水プラグと組み合わせて使用してください。

使用時

●温風吹出口の周囲にリモコンを置かない
温風により故障の原因になります。



●暖房以外の用途に使用しない（思わぬ事故の原因）
食品・精密機器・美術品の保存や動植物の生育・衣類乾燥など特殊な用途には使用しないでください。

●温風があたる場所に燃焼器具を置かない
（燃焼器具の不完全燃焼や火災の原因）

⚠注意（CAUTION）

使用時

●傾けたり、横倒しの状態で保管しない
温水が漏れて家財などを汚すおそれがあります。

●プラスチック部分には火気を近づけない
火災の原因になることがあります。

●温風吹出口の前に椅子やテーブルなどを置かない
温風の循環が妨げられ、効果的な暖房が行えません。

●温風吹出口のルーバーの角度をむりに変えない
床やじゅうたんなどの変形・変色・ひび割れなどの原因になります。

●金属部に触らない（けがの原因）
フィルタの脱着やお手入れのときは、熱交換器に触らないでください。

●家具などに温風を直接あてない
木製品(テーブル・タンス・椅子など)、熱に弱いビニール、樹脂製品に直接温風をあてないでください。変形やそりなどの不具合が生じるおそれがあります。

●本体の上に乗ったり、ものを載せたりしない
転倒してけがをしたり、本体の変形や事故の原因になります。

●以下の場所では使用しない

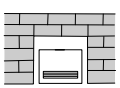
- **水平でない場所、不安定な場所**
  水平で丈夫な床の上で使用してください。

- **風があたる場所、部屋の出入口、屋外**
  風があたって室温調節が正確に行われないことがあります。
  また、人が出入りする際に本体が転倒し、故障の原因になります。

- **不安定なものを載せた棚などの下**
  ものが落ちると危険です。

- **直射日光のあたる場所**
  室温調節が正確に行われないことがあります。
  また、変色や故障の原因になります。

- **ガソリンやシンナーなど引火しやすいものの周囲**
  火災になるおそれがあります。
- **囲われる場所**
  過熱のおそれや室温制御が正常に作動しなくなるおそれがあります。
  壁組込み設置はしないでください。



- **ほこりや湿気が多い場所**
  エアフィルタがつまりやすくなります。

- **テレビ・ラジオ・オーディオなどの近く**
  雑音や誤作動の原因になることがあります。

安全上の注意（必ずお守りください）

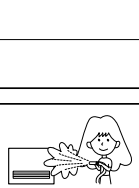
⚠注意（CAUTION）

使用時

●温水ゴム管接続具キャップをはずさない
閉端接続子を保護しています。

●信号線のコネクタを本体から抜かない
熱源機との通信ができなくなります。

●水洗いしたり、花瓶などの水が入った容器を載せたりしない
内部に水が入ると感電や故障の原因になります。



●濡れた手で電源プラグを触らない（感電の原因）

●ときどき換気する（酸欠事故の原因）
燃焼器具などをいっしょに使用する場合は、こまめに換気してください。

●本体内部の掃除はお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに相談する
市販されているエアコン用の内部洗浄剤は使用しないでください。プラスチック部分が破損したり、洗浄後の汚水が流れ出ます。

●温風のあたる場所は熱に強いマットなどを敷いて使用する
床(フローリング材)の上で長時間使用すると変色したり、そり返ったり、ひび割れることがあります。

●リモコン用乾電池について以下のことを守る
破裂や液漏れなどにより、けが・やけどの原因になることがあります。もし液に触 れたときは、水でよく洗い流してください。また、リモコンなどに液が付着した場合は、液に直接触れないでください。
・極性表示⊕⊖を間違えて挿入しないでください。
・充電しないでください。
・乾電池に表示している「使用推奨期間」を過ぎて使用しないでください。
・使い切った乾電池をリモコンに入れたままにしないでください。
・種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
・乾電池に直接ハンダ付けしないでください。
・ショート・分解・加熱・火の中に投入しないでください。
・乾電池を廃棄するときは、端子にテープなどを巻きつけて絶縁してください。他の金属や電池と混じると発熱・破裂・発火の原因になることがあります。

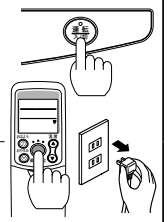
●乾電池の取扱いに注意する
幼児が誤って乾電池を飲み込まないように注意してください。
乾電池を飲み込んだ場合は、すぐにはき出させ、医師に相談してください。
健康を害する原因になります。
またリモコンを処分するときは乾電池を抜いてください。

●凍結に注意する
凍結予防のため冬期は電源プラグを抜かないでください。凍結破損の原因になります。

⚠注意（CAUTION）

使用時

●長期間使用しないときは…
ほこりがたまって火災や発熱の原因になりますので、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、リモコンから乾電池を取出してください。入れたままにすると乾電池から液が漏れる場合があります。漏れた液が皮膚についたり、目や口に入った場合は、すぐに水で洗って流してください。なお、症状によっては、医師にご相談ください。



●本体やエアフィルタの掃除をするときは…
（感電・ケガ・やけどの原因）
必ず運転を停止し、30分以上待ち、本体と温水が冷めてから電源プラグを抜いて行ってください。

お願い（NOTICE）

据付け時

●以下の場所には設置しない
排気口や換気扇などの蒸気・油煙・チリ・湿気・ほこりの排出される付近に設置しないでください。

●アースを接続する
近くにアース端子がある場合はアースを接続することをおすすめします。

使用時

●落雷のおそれがあるときの処置（火災・感電・故障の原因）
雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、運転を停止しすみやかに電源プラグを抜いてください。

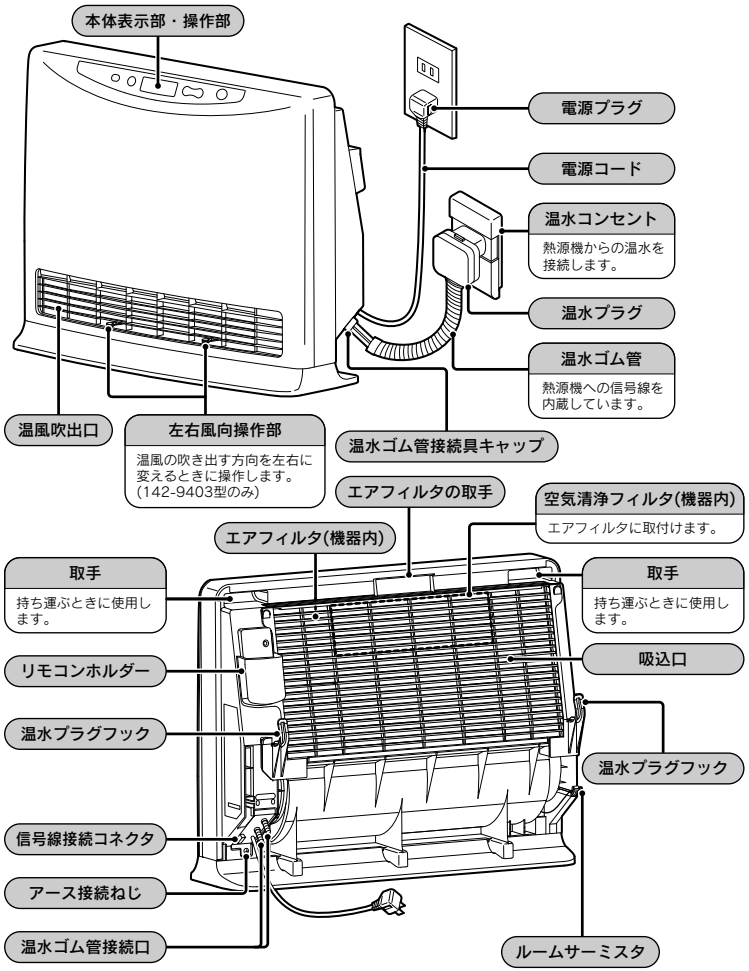
●一般家庭用として使用する
業務用に使用すると、寿命が短くなる原因になります。

●温水ゴム管をルームサーミスタに近づけない
温水ゴム管の中を流れる温水の影響を受けて、室温調節が正確に行われないことがありますので、温水ゴム管をルームサーミスタから6cm以上離してください。

●電気カーペットなどの上に置かない
電気カーペットなどの熱の影響を受けて、室温調節が正確に行われないことがあります。

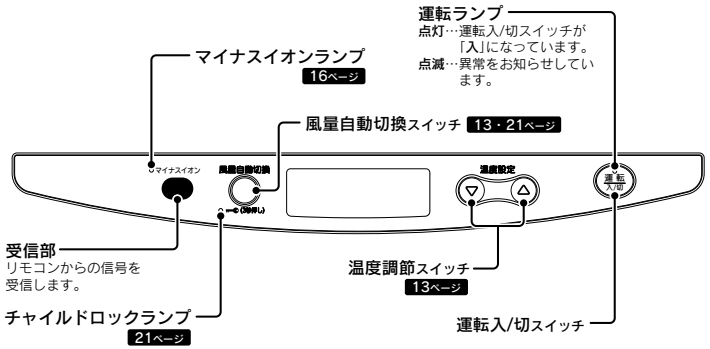
各部のなまえとはたらき

本体外観図

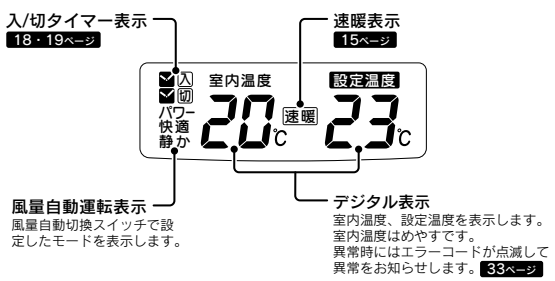


イラストは142-9403型です。

本体操作部

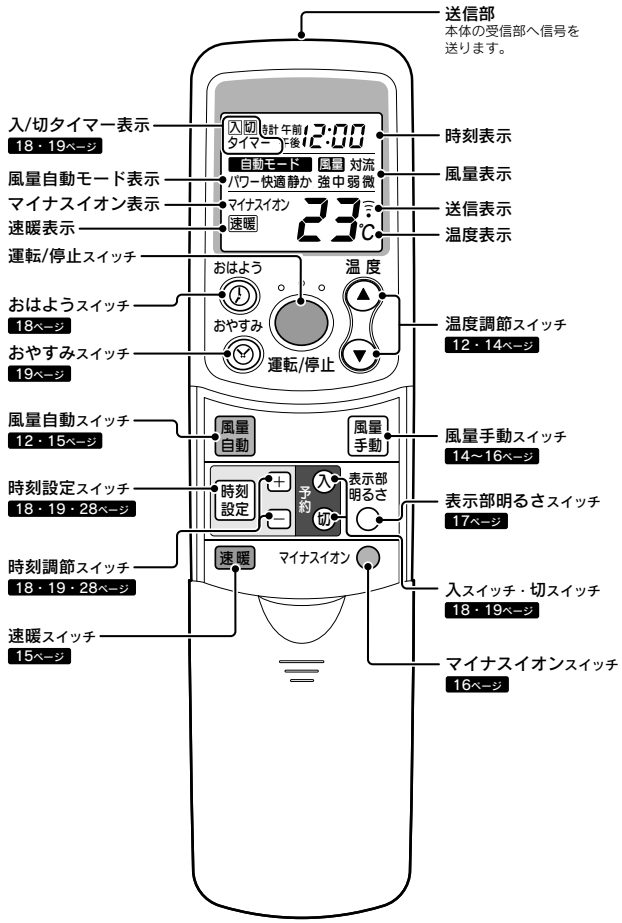


本体表示部



表示部は説明のためのもので、実際とは異なります。

リモコン



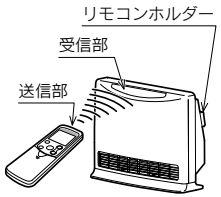
ふたを開けた状態です。
表示部は説明のためのもので、実際とは異なります。

使用前の準備

「**シーズン前の準備**」(26～29ページ)に従って本体とリモコンを使用できる状態にしてください。

リモコンの取扱いかた

- リモコンの送信部を本体の受信部に向けて操作してください。(本体のリモコンホルダーに入れたまま、操作しないでください。受信できないことがあります。)
- 受信部との間に信号をさえぎるものがないようにしてください。
- 衝撃を与えたり、水をかけたりしないでください。また直射日光があたる場所、ストーブなどの近くには置かないでください。
- 電子式点灯方式(ラピッドスタート方式)の蛍光灯やインバータ方式の蛍光灯、コードレス電話のある部屋では信号を受け付けない場合があります。その場合はリモコンを受信部に近づけて操作してください。
- 送信部に直射日光が当たっている場合は、本体が受信できないことがあります。

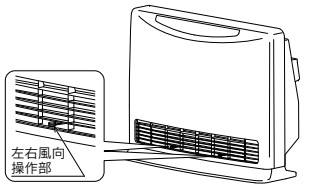


風向調節(142-9403型のみ)

⚠警告

- 温風吹出口の奥に指や異物を入れないでください。内部でファンが高速回転していますので、けがの原因となったり、送風ファンを破損したりするおそれがあります。特にお子さまに注意してください。

- 風向調節を行う場合は運転を停止し、必ず左右風向操作部が冷めていることを確認してから手で動かして調節してください。



お知らせ

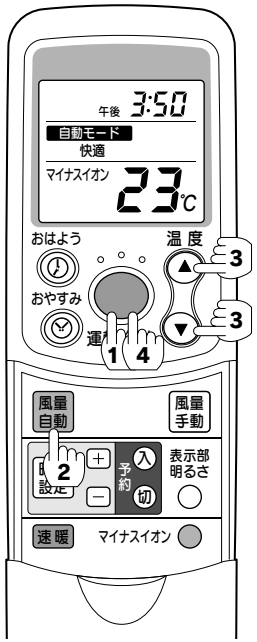
- 乳幼児・お子さま・お年寄り・病気のかたなどがいる部屋で使用する場合は、周囲の方が常に注意して風向や室温を調節してください。

お部屋を暖める

風量自動運転

お部屋の広さに合わせて3種類の風量自動モードが選択できます。

リモコンで行う場合



1 運転/停止スイッチを押す

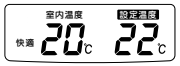
本体操作部の運転ランプと表示部が点灯します。

本体表示部

2 風量自動で風量自動モードを設定する

押すごとに
パワー→快適→静か
の順番で切換わります。

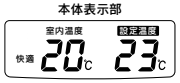
本体表示部



3 ▲▼で温度調節をする

10～30℃の範囲で調節できます。

本体表示部



停　止

4 運転/停止スイッチを押す

本体操作部の運転ランプと表示部が消灯します。
（次回からは運転/停止スイッチを押すだけで同じ設定で運転できます。）

本体で行う場合

1 運転入/切スイッチを押す

運転ランプと表示部が点灯します。

2 風量自動切換で風量自動モードを設定する

押すごとに パワー→快適→静か の順番で切換わります。

3 ▽△で温度調節をする

10～30℃の範囲で調節できます。

停　止

4 運転入/切スイッチを押す

運転ランプと表示部が消灯します。
（次回からは運転入/切スイッチを押すだけで同じ設定で運転できます。）

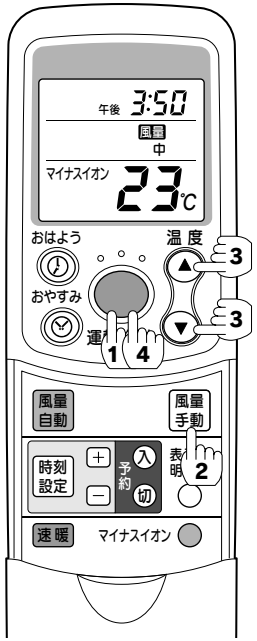
お知らせ

- ●室温調節は風量を自動的に切換えて行います。
  最大風量は「**パワー：強**」、「**快適：中**」、「**静か：弱**」となります。
- ●春先や秋口、また狭い部屋で使用した場合には、風量が「**微**」運転でも室温が設定温度より高くなってしまうことがあります。
  この場合は室温が設定温度より2℃上昇すると送風ファンは自動的に停止し、「**対流**」になります。
- ●「**対流**」とは送風を停止して温水を循環させ、自然な空気の流れで対流させることです。
- ●風量自動運転と風量手動運転は同時にはできません。
- ●本体を運転中に温水温度が低くなった場合は、一時的に送風を停止することがあります。
- ●電源プラグをコンセントから抜いたり、停電すると本体の設定が「**マイナスイオン**」、「**パワー**」、「**20℃**」の初期設定になります。
- ●本体に表示される室内温度はルームサーミスタで温度を検知していますので、本体を置いている位置や空気の流れなどにより、お客さまが感じる温度と表示されている室内温度は異なる場合があります。

風量自動モード	風量自動範囲
パワー	強・中・弱・微・対流
快適	中・弱・微・対流
静か	弱・微・対流

風量手動運転

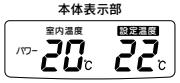
お好みの風量で運転ができます。



1 運転/停止スイッチを押す

本体操作部の運転ランプと表示部が点灯します。

本体表示部



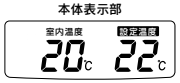
2 風量手動で風量を設定する

押すごとに

強→中→弱→微→対流

の順番で切換わります。

本体表示部



3 ▲▼で温度調節をする

10～30℃の範囲で調節できます。

※風量を「**対流**」に設定した場合は設定温度が消灯し、温度調節ができません。

本体表示部

停　止

4 運転/停止スイッチを押す

本体操作部の運転ランプと表示部が消灯します。

（次回からは運転/停止スイッチを押すだけで同じ設定で運転できます。）

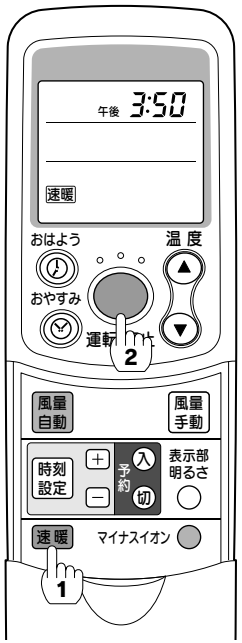
お知らせ

- 「**対流**」とは送風を停止して温水を循環させ、自然な空気の流れで対流させることです。
- 室温が設定温度より2℃上昇すると送風ファンは自動的に停止し、「**対流**」になります。
- 室温は本体操作部に表示しています。暖めすぎに注意してください。
- 「**対流**」に設定した場合はマイナスイオンは発生しません。
- 風量自動運転と風量手動運転は同時にはできません。
- 本体を運転中に温水温度が低くなった場合は、一時的に送風を停止することがあります。
- 本体に表示される室内温度はルームサーミスタで温度を検知していますので、本体を置いている位置や空気の流れなどにより、お客さまが感じる温度と表示されている室内温度は異なる場合があります。

速暖運転

暖房中にしばらく部屋を離れる場合、速暖を押して本体を待機させておくと、部屋に戻って運転を再開したときに温風の吹き出しが早くなります。

（「**速暖**」表示が点灯中は、温水を保温しながら本体に循環させています。）



1 暖房運転中に速暖を押す

本体が待機（温風の吹き出しが止まります。）して運転ランプと「**速暖**」表示が点灯します。

※運転停止中に速暖を押しても速暖運転は有効になります。

本体表示部

速暖の取消し

速暖を押す

本体操作部の運転ランプと「**速暖**」表示が消灯します。また、速暖運転を開始してから約1時間経過すると自動的に停止します。

暖房運転を再開する場合

2 運転/停止スイッチを押す

（風量自動スイッチまたは風量手動スイッチを押しても暖房運転を再開します。）

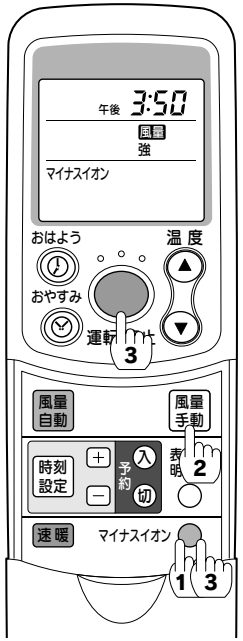
本体が運転を開始（温風が吹き出します。）して、「**速暖**」表示が消灯します。

お知らせ

- この本体は熱源機で暖められた温水を循環させ、温風に変えて吹き出す間接暖房方式です。速暖運転を行っていない場合は運転開始から温水が一定温度になり、温風を吹き出し始めるまで数分かかります。（温風を吹き出し始める時間は使用条件や熱源機の種類により異なります。）
- 速暖運転のタイマー予約はできません。
- 運転停止中に速暖スイッチを押した場合、熱源機の温水温度が上昇するまでは運転/停止スイッチまたは風量自動スイッチまたは風量手動スイッチを押しても温風を吹き出しません。
- 以下の場合、リモコンの「**速暖**」表示は消灯しませんので、消したい場合は速暖スイッチを押してください。
  - ・速暖運転開始から約1時間経過し、自動的に停止した場合
  - ・本体の運転入/切スイッチで暖房を再開した場合

マイナスイオン運転

マイナスイオンの発生を開始、または停止させるときに使用します。



運転している場合（運転中にマイナスイオン運転を同時に行う場合です。）

1 マイナスイオン ◯を押す

本体操作部のマイナスイオンランプが点灯します。

停　止

3 マイナスイオン ◯を押す（マイナスイオン運転のみを停止する場合）

本体操作部のマイナスイオンランプが消灯します。

3 運転/停止スイッチを押す（運転も同時に停止する場合）

本体操作部の運転ランプとマイナスイオンランプが消灯します。次回からは運転をすると同時にマイナスイオン運転を行います。

停止している場合（マイナスイオン運転を単独で行う場合です。）

1 マイナスイオン ◯を押す

本体操作部のマイナスイオンランプが点灯します。

2 風量手動で風量を設定する

押すごとに →強→中→弱→微→ の順番で切換わります。

停　止

3 マイナスイオン ◯または
運転/停止スイッチを押す

本体操作部の運転ランプとマイナスイオンランプが消灯します。

お知らせ

- マイナスイオン運転は風量手動運転の「**対流**」、「**速暖運転**」と同時にはできません。
- 本体操作部のマイナスイオンランプとリモコンのマイナスイオン表示は、風量自動運転中の「**対流**」、「**おはよう（入タイマー）運転**」の予約中にマイナスイオンの発生が中断している間も点灯します。

本体表示部の明るさの切換え

本体表示部とランプの明るさを切換えることができます。

1 表示部明るさ ◯を押す

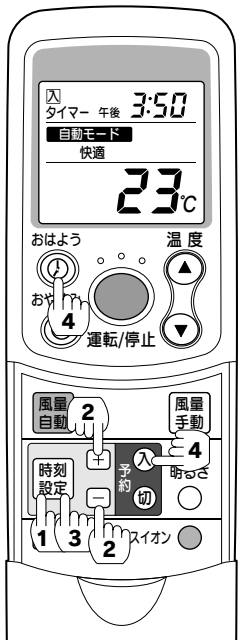
押すごとに4段階に切換わります。

お知らせ

- 本体表示部の明るさを変更すると、次回運転時も同じ明るさになります。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電すると明るさはお買い上げ時の状態になります。

おはよう(入タイマー)運転

●おめざめ前やご帰宅などに合わせてご使用ください。
●タイマー時刻を設定する前に現在時刻が合っていることを確認してください。28ページ
●現在時刻から24時間以内のタイマー予約ができます。
●タイマー時刻は一度設定すると、リモコンが記憶しています。次回からは㋕または入を押すだけで同じ時刻にタイマー運転を行います。



お知らせ

●乾電池を交換すると「**おはようタイマーは午前5：00**」の初期設定になります。

おはよう(入タイマー)運転の特長

室温が7℃未満の場合
設定時刻の約30分前に運転を開始します。
室温が7℃以上の場合
設定時刻の約15分前に運転を開始します。

入タイマー時刻の設定
(午前7:00に設定する場合)

1 時刻設定を2回押す

2 ＋－でタイマー時刻を設定する

1回押すと10分、押し続けると早送りになります。

リモコン
入 タイマー 午前 7:00

3 時刻設定を2回押す

入タイマー時刻の設定が完了し、現在時刻を表示します。
(10秒間操作しない場合も、時刻設定は完了し現在時刻を表示します。)

リモコン
午後 3:50

入タイマーの予約

4 ㋕または入を押す

入タイマー時刻を1秒間表示した後、現在時刻と「入**タイマー**」を表示し予約が完了します。
本体表示部の入表示が点灯し、待機状態になります。
※「**対流**」中に入タイマー予約をした場合は設定温度を表示しません。

本体表示部
入 快適 設定温度 23℃

リモコン
入 タイマー 午後 3:50

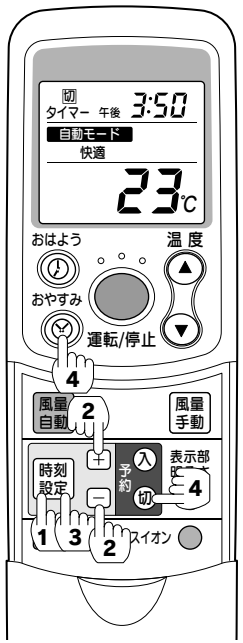
入タイマー予約の取消し

㋕または入を押す

本体表示部の入表示が消灯し、運転を開始します。
運転を停止する場合は、運転/停止スイッチを押してください。

おやすみ(切タイマー)運転

●おやすみになるときなどにご使用ください。
●タイマー時刻を設定する前に現在時刻が合っていることを確認してください。28ページ
●現在時刻から24時間以内のタイマー予約ができます。
●タイマー時刻は一度設定すると、リモコンが記憶しています。次回からは㋦または切を押すだけで同じ時刻にタイマー運転を行います。

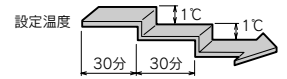


お知らせ

●乾電池を交換すると「**おやすみタイマーは午後10：00**」の初期設定になります。

おやすみ(切タイマー)運転の特長

運転開始後、約30分で設定温度が1℃下がり、更に約30分後1℃下がります。本体表示部とリモコンの設定温度は変わりません。



切タイマー時刻の設定
(午後10:00に設定する場合)

1 時刻設定を3回押す

2 ＋－でタイマー時刻を設定する

1回押すと10分、押し続けると早送りになります。

リモコン
切 タイマー 午後 10:00

3 時刻設定を1回押す

切タイマー時刻の設定が完了し、現在時刻を表示します。
(10秒間操作しない場合も、時刻設定は完了し現在時刻を表示します。)

リモコン
午後 3:50

切タイマーの予約

4 ㋦または切を押す

切タイマー時刻を1秒間表示した後、現在時刻と「切**タイマー**」を表示し予約が完了します。
本体表示部の切表示が点灯します。

本体表示部
切 室内温度 20℃ 設定温度 23℃

リモコン
切 タイマー 午後 3:50

切タイマー予約の取消し

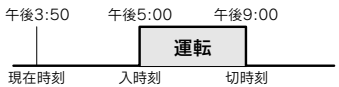
㋦または切を押す

本体表示部の切表示が消灯し、運転を継続します。
運転を停止する場合は、運転/停止スイッチを押してください。

おはよう(入タイマー)運転、おやすみ(切タイマー)運転の組み合わせ

おはよう(入タイマー)運転とおやすみ(切タイマー)運転は、現在時刻に対して設定時刻の早い方から先に作動します。

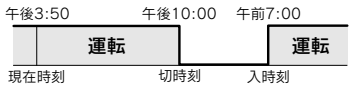
午後5:00に運転を開始し、午後9:00に停止する場合



1 午後5:00におはよう(入タイマー)運転を予約する

2 午後9:00におやすみ(切タイマー)運転を予約する

午後10:00に停止し、午前7:00に運転を開始する場合



1 午後10:00におやすみ(切タイマー)運転を予約する

2 午前7:00におはよう(入タイマー)運転を予約する

1、**2**の操作はどちらを先に行っても同じ設定になります。
おはよう(入タイマー)運転の開始時刻は室内の温度によって異なります。18ページ

タイマー時刻の変更

タイマー予約中は設定時刻の変更はできませんので、一度タイマー予約の取消しを行った後にタイマー時刻の変更をして再度、タイマー予約を行ってください。

チャイルドロック

チャイルドロックを設定することによって、お子さまなどのいたずらによる運転開始、温度調節を防止します。

1 風量自動切換 を約3秒間押す

チャイルドロックランプが点灯します。

解　除

2 風量自動切換 を約3秒間押す

チャイルドロックランプが消灯します。

お知らせ

- 運転中・停止中に関係なくチャイルドロックの設定ができます。
- 運転中にチャイルドロックを設定した場合は、本体の運転入/切スイッチまたはリモコンの運転/停止スイッチを押して運転を停止することしかできません。
- 停止中にチャイルドロックを設定すると、すべての操作ができません。チャイルドロックを解除してから操作してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電するとチャイルドロックは解除されます。
- 風量自動切換スイッチを押し続けると「**設定・解除**」を繰り返します。

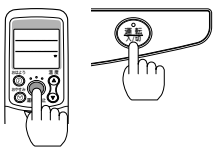
日常の点検・手入れ

お手入れの前に

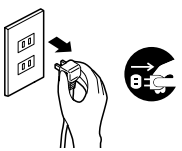
⚠警告

●運転している場合は運転/停止スイッチを押して、運転を停止してください。停止しないと内部でファンが高速回転していますので、けがの原因になります。
●電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引張って抜くと、断線して火災や発熱の原因になります。

1 運転を停止する



2 電源プラグを抜く



お手入れのしかた

⚠注意

●本体に直接水をかけて掃除をしないでください。感電の原因になります。
●エアフィルタを取りはずしているときは、機器内の熱交換器に触らないでください。けがの原因になります。
●エアフィルタは、水気を充分ふきとって陰干ししてください。
水気が残ったまま取付けると感電の原因になります。
●点検や手入れは、本体が冷めてから行ってください。
●濡れた手で電源プラグを触らないでください。
●部品の分解や調整は絶対にしないでください。
●異常があるときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
●点検や手入れのときは手袋などの保護具を着用してください。

お願い

次のものは使用しないでください

ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナー・酸性やアルカリ性の洗剤など

印刷や塗装のはがれ、傷、変色、ひび割れの原因になります。

40℃以上のお湯

変色・変形の原因になります。

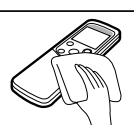
適時に

本体

温風吹出口は掃除機でほこりを吸い取ってください。
本体は水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を入れたぬるま湯を布に含ませ、固くしぼってふいてください。
ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。
印刷や塗装のはがれ、傷の原因になります。
最後に柔らかい布で中性洗剤をよくふきとってください。変色、ひび割れの原因になります。

リモコン

水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。
ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装のはがれ、傷の原因になります。

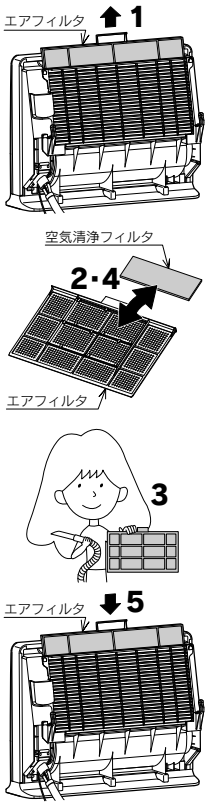


日常の点検・手入れ

交換用フィルタ
空気清浄フィルタ

1週間に1回以上

エアフィルタ・空気清浄フィルタ



1 エアフィルタをはずす

エアフィルタの取手を持ち上げ、引き出します。

2 空気清浄フィルタをはずす

3 掃除する

●**エアフィルタ**
使用期間中は1週間に1回以上、掃除機でエアフィルタのほこりを吸い取ってください。よごれがひどい場合は水洗いしてください。
※水洗いの後は日陰でよく乾かしてください。

●**空気清浄フィルタ**
掃除機でほこりを吸い取ります。
汚れがひどく臭いが取れない場合は交換してください。

4 空気清浄フィルタを取付ける

5 エアフィルタを取付ける

空気清浄フィルタが本体の前面側になる向きで差し込みます。
エアフィルタを取付けないで運転すると、ほこりなどが内部に入り、汚れや故障の原因になります。

お知らせ

●エアフィルタ・空気清浄フィルタが汚れたまま使用すると、空気清浄効果が得られなかったり、臭いが発生したり、暖房能力が落ちたりすることがあります。
●空気清浄フィルタの有効期間は約3年ですが、使用状況により汚れ具合が異なりますので、ときどき点検してください。
●空気清浄フィルタを廃棄する場合は、不燃物ゴミとしてお住まいの地域のゴミ収集規則に従って処分してください。
●空気清浄フィルタの保管は高温多湿を避け、開封後はなるべく早く使用してください。開封したまま放置すると空気清浄効果が低下します。

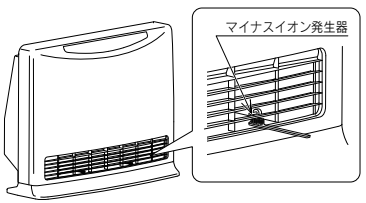
1ケ月に1回以上

⚠警告

●お手入れは運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
通電したままでマイナスイオン発生器を触ると感電のおそれがあります。

マイナスイオン発生器

マイナスイオン発生器内部の金属針の先端を歯ブラシなどで3～4回軽くこすってください。
綿棒などの毛羽立つものは使用しないでください。



お知らせ

●ほこりがたまるとマイナスイオンの発生が減り、電磁音(ジー)が出ることがあります。
●シーズン前には必ず掃除をしてください。

点検のおすすめ

●数シーズンご使用になりますと、本体の内部が汚れ、能力低下の原因になることがあります。
日常の手入れとは別に点検を受けることをおすすめします。
詳しくはお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。
●本体の内部の洗浄はお客さまご自身で行わず、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。
誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、内部樹脂部品が破損したり温水漏れすることがあります。また、電気部品やモータの発火・発煙・故障などの原因になります。

シーズン前の準備

⚠警告

●温水プラグはプラスチック、ゴムなどの材料を使用しています。絶対に蹴ったり、たたいたりしないでください。強い力などが加わると破損し温水漏れの原因になります。また、装着はまっすぐ確実に行ってください。
●電源プラグのほこりを掃除して、がたつきのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。

1 エアフィルタ・空気清浄フィルタを掃除する24ページ

※ご購入後はじめて使用する場合は、掃除の必要はありません。付属の空気清浄フィルタを取付けてください。27ページ

2 リモコンに乾電池を入れる27ページ

3 現在時刻を合わせる28ページ

4 マイナスイオン発生器を掃除する25ページ

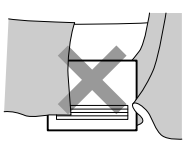
※ご購入後はじめて使用する場合は、掃除の必要はありません。

5 温水プラグ・電源プラグを接続する29ページ

温水プラグを温水コンセントにカチッと音がするまで差し込んでください。
温水プラグに温水が付着してないことを確認してください。

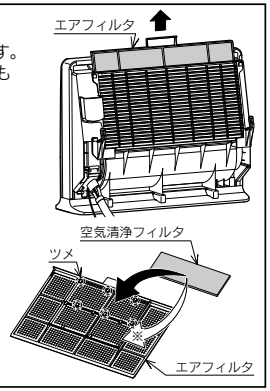
6 吸込口や温風吹出口を確認する

ふさがれていると正常な運転ができず、故障の原因になります。



空気清浄フィルタの取付け

●この本体には空気清浄フィルタが1枚付属しています。
※142-9403型は空気清浄フィルタを2枚取付けることができます。
2枚取付ける場合は別売の交換用フィルタを販売店または、もよりの大阪ガスへお問い合わせください。



1 エアフィルタをはずす

エアフィルタの取手を持ち上げ、引き出します。

2 空気清浄フィルタを取付ける

エアフィルタ枠のツメとフィルタの間に空気清浄フィルタを差し込みます。

3 エアフィルタを取付ける

空気清浄フィルタが本体の前面側になる向きで差し込みます。

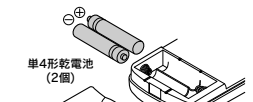
乾電池の入れかた

1 ふたをはずす

ふたを下にスライドさせ、止まったところで上に持ち上げるとはずれます。

2 乾電池を入れる

表示に従って⊕⊖を正しく入れてください。



3 ふたを取付ける

レールにそって差し込んでください。

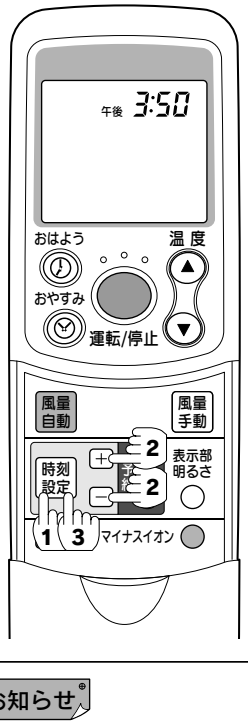
4 表示部を確認する

運転/停止スイッチを押して表示が出ることを確認してください。

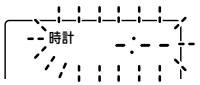
●付属の乾電池はモニター用です。表示がうすくなったり、信号を受け付けなくなったりした場合は、乾電池を交換してください。
●乾電池は2個とも同じ種類の新しいものを入れてください。
●乾電池を交換すると「**マイナスイオン**」、「**パワー**」、「**20℃**」、「**自動モード**」、「**おはようタイマーは午前5：00**」、「**おやすみタイマーは午後10：00**」の初期設定になります。
現在時刻とタイマー時刻は解除されますので、設定し直してください。
●長期間使用しない場合は、乾電池を取出してください。

●乾電池交換後、正常に作動しないときは乾電池をはずした状態で運転/停止スイッチを3、4回押し、再度入れてください。

現在時刻の設定

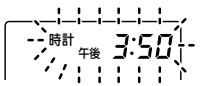


1 時刻設定を1回押す



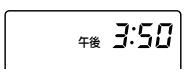
2 ＋－で時刻を合わせる

1回押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。
現在時刻はスイッチを押すごとに確定され、時計がスタートします。



3 時刻設定を3回押す

現在時刻が表示され、現在時刻の設定が完了します。
（10秒間操作しない場合も、現在時刻の設定が完了します。）



お知らせ

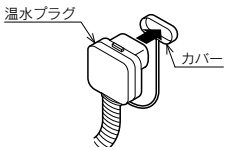
- 現在時刻を設定した後は、停止中でも現在時刻を表示します。
- 現在時刻を設定しないとおはよう（入タイマー）運転・おやすみ（切タイマー）運転はできません。
- 本体表示部には現在時刻の表示はしません。

温水プラグ・電源プラグの接続

⚠注意

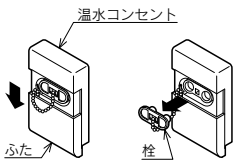
- 温水プラグはプラスチック、ゴムなどの材料を使用しています。絶対に蹴ったり、たたいたりしないでください。強い力などが加わると破損し温水漏れの原因になります。また、差し込むときはまっすぐ確実に行ってください。

1 温水プラグのカバーをはずす

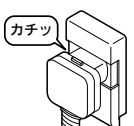


2 温水コンセントの栓をはずす

ふたを下げ、鎖を引張ってください。



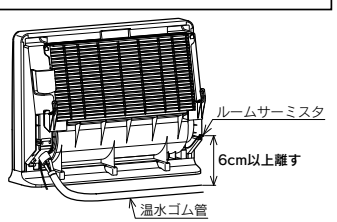
3 温水プラグを温水コンセントにカチッと音がするまで差し込む



4 電源プラグをコンセントに差し込む

お知らせ

- 本体を壁際に設置する場合は、温水ゴム管がつぶれないように注意してください。
- 温水ゴム管を本体の背面に引き回す場合は、温水ゴム管をルームサーミスタから6cm以上離してください。
  温水ゴム管の熱で正確な室温の調節ができなくなります。
- ルームサーミスタが壁やカーテンなどにあたらないよう隙間を空けてください。



上手に使ってね

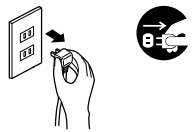
シーズン後のお手入れ

⚠注意

●熱源機と接続しているすべての本体の運転を停止し、約30分程度待って、本体と温水が冷めてから行ってください。やけどの原因になります。

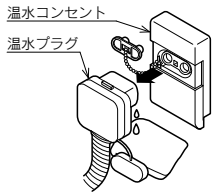
シーズン終了後や長期間使用しない場合は、次の要領で手入れを行い、保管してください。

1 電源プラグを抜く



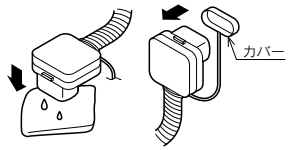
2 温水プラグを温水コンセントから抜く

温水プラグから少量の温水が落ちますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



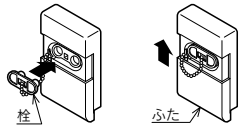
3 温水プラグにカバーをする

少量の温水がプラグ部に付着していますので、温水プラグをふいて、カバーを取付けてください。



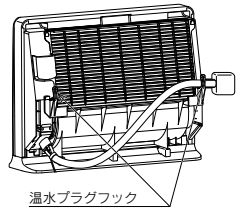
4 温水コンセントに栓をして、ふたを閉める

少量の温水がコンセント部に付着していますので、コンセント部をふいて栓を差し込み、ふたを閉めてください。



5 温水プラグの温水ゴム管を温水プラグフックに引掛ける

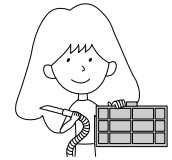
温水漏れによる故障を防ぎます。



6 お手入れをする

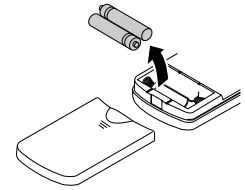
エアフィルタやリモコンなどを掃除してください。
23～25ページ

エアフィルタを取りはずした場合は、元通りに取付けてください。



7 リモコンの乾電池を取り出す

液漏れによる故障を防ぎます。



8 保管する

本体を段ボールケースに納め、湿気の少ないところに保管してください。
本体は絶対に傾けたり、横倒しにしたりして保管しないでください。
温水が漏れて家財などを汚すおそれがあります。

故障かな？と思ったら

サービス（修理）を依頼される前に

故障ではない場合がありますので、修理を依頼する前にもう一度確認してください。
それでも直らないときや原因がわからないときはお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

こんなときは	確認してください
運転しない	●停電していませんか。 ●屋内ブレーカーが「OFF」になっていませんか。 ●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ●チャイルドロックが設定されていませんか。解除してください。 21ページ
ファンが回らず温風が出ない	●温水コンセントがはずれていませんか。 ●風量自動運転中に「対流」に切換わり、送風が停止していませんか。室温設定が適切であることを確認してください。 12ページ ●リモコンで風量手動運転の「対流」に設定していませんか。 14ページ ●速暖運転に設定していませんか。 15ページ ●運転開始時、温水温度が低いとすぐに温風が出ません。温水温度が上がるまでしばらくお待ちください。 ●熱源機は動いていますか。熱源機の取扱説明書に従って処置してください。 ●1台の熱源機に接続した複数の本体を同時に運転させると送風が停止することがありますので、部屋を早く暖める場合は本体を交互に運転させてください。
ファンが回らず温風が出ない 室内温度の表示が実際と異なる	●本体に風や直射日光があたったり、温水ゴム管とルームサーミスタが近い位置にあったりすると正確な室内温度が感知できません。 置く場所の周囲には注意してください。また、温水ゴム管とルームサーミスタは6cm以上離してください。
温風が出ない	●マイナスイオン運転を単独で行っていませんか。 16ページ
暖房能力が低下した	●エアフィルタが目詰まりしていませんか。エアフィルタを掃除してください。 24ページ ●温水ゴム管がつぶれていませんか。つぶれないように注意してください。
運転開始後や停止後に「ピシッ」「パキッ」という音がする	●運転中に本体から音がすることがあります。これは温度変化により、樹脂部品がわずかに伸縮するため発生する音です。（故障ではありません。）
運転中や運転モード切換時に「カチッ」「ウーン」「コトコト」という音がする	●リレーの作動、熱動弁の開閉、ファンの速度変更時に発生する音です。 （故障ではありません。）
マイナスイオン運転中に「ジー」という音がする	●マイナスイオン発生器にほこりがたまると異音がすることがあります。マイナスイオン発生器のお手入れをしてください。 25ページ
水の流れる音がする	●運転中や運転停止直後は本体内に温水が流れています。（故障ではありません。） ●室温が低いときに凍結予防機能が働き、本体内に温水が流れる場合があります。
本体の表示部やリモコンの表示の色が変化する	●本体の表示部やリモコンの表示を正面以外から見ると色が変化して見えることがあります。また表示が薄く見えたり、明るさにムラが生じることがあります。（故障ではありません。）

こんなときは	確認してください
リモコン操作を受け付けない リモコンの表示が薄い 送信時に表示が薄くなる リモコンの表示が出ない	●電子式点灯方式の蛍光灯、インバータ方式の蛍光灯、コードレス電話による受信障害が考えられます。リモコンを本体の受信部に近づけて操作してください。 ●乾電池が消耗していませんか。 乾電池を交換してください。（単4形乾電池2個） 27ページ 乾電池交換後、正常に作動しないときは乾電池をはずした状態で運転/停止スイッチを3、4回押し、再度入れてください。 ●乾電池の⊕⊖が逆になっていませんか。 ●他の機器に使用しているリモコンから同時に信号を発信しているときは、本体の受信部が他の機器のリモコンに反応して、本体のリモコン信号を受信できなくなることがあります。 ●リモコンラック（小物入れ）にリモコンを収納した際に、つめすぎによりスイッチが押されることがあります。 ●リモコンラック（小物入れ）に立て掛けたとき、リモコンラックの縁にあたり、リモコンのスイッチが押されていることがあります。 ●受信部に直射日光があたっていませんか。直射日光があたっていると受信しないことがあります。

エラーコード

本体の表示部にエラーコードを表示して、故障・異常をお知らせします。
エラー表示を繰返す場合はお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

エラーコード	説　明	確　認・処　置
15	機器内が高温になった	約30分程度待ち、温水が冷めてからリセットしてください。
16	室内が高温になった	室温が低下してからリセットしてください。 温水ゴム管とルームサーミスタが近い場合は、6cm以上離してください。
上記以外	修理が必要な故障	お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

リセットの方法…本体の運転入/切スイッチまたはリモコンの運転/停止スイッチを一度「**切**」にしてから再度「**入**」にします。

運転中に誤作動したときは

●万一運転中に雷や自動車無線などで誤作動したり、動かなくなったり、リモコン操作を受け付けなくなったりしたときは、電源プラグをコンセントから抜き3分待って再度差し込んだ後に、リモコンの運転/停止スイッチを押してください。

部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに依頼してください

- ●部品は必ず**純正部品**を使用してください。
- ●故障したままで使用しないでください。
- ●故障して修理が必要なときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに依頼してください。

仕　様

品名コード	142-9402	142-9403
型式名	RHC-420G	RHC-620G
定格暖房能力	3.5kW(3,000kcal/h)〔80℃ 2.0L/min〕	5.2kW(4,470kcal/h)〔80℃ 2.0L/min〕
温水損失水頭	11.9kPa(2.0L/min)	12.7kPa(2.0L/min)
PT相当長	3.1m(7A)	3.3m(7A)
最高使用圧力	98kPa(1kgf/cm^2)	
電源電圧および周波数	単相100V　50/60Hz	
定格消費電力	25/30W	38/43W
騒音	42/42dB	43/44dB
外形寸法	高さ　475mm 幅　445mm 奥行き 200mm	高さ　475mm 幅　605mm 奥行き 200mm
質量	7.5kg	9.5kg
配管接続	φ8mm用温水ゴム管	
付属品	リモコン・単4形乾電池(2個)・空気清浄フィルタ(1枚) 温水ゴム管接続具キャップ・E-CON接続コネクタ 取扱説明書(保証書付)・工事説明書	

●騒音値はJISの試験方法による当社無響室における測定値です。
実際の使用では室内での反響により仕様値より大きくなることがあります。

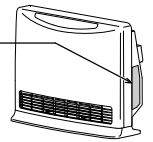
保証・サービス

サービスを依頼されるときは

サービス(修理)を依頼する前に32・33ページの「**故障かな？と思ったら**」の項を見て、今一度確認してください。不具合があるときはご自分で修理せず、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

●アフターサービスをお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください。

1. **品　　名……ファンコンベクター(移動型)**
2. **品名コード……** 142-9402型 / 142-9403型
   型　式　名…… RHC-420G / RHC-620G
3. **お買い上げ年月日……保証書をご覧ください**
4. **故障の状況(現象または異常表示の内容)……できるだけ詳しく**
5. **ご住所、お名前、電話番号、道順(付近の目印など)**
6. **訪問ご希望日**



保証・修理について

- ●この機器には保証書がついています。
- ●必ず「お買い上げ店名・お買い上げ日等」が記入されている保証登録カード、または領収書等を確認してください。保証書の内容をよくお読みになったあとは大切に保管しておいてください。
- ●正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定によりお買い上げ日より2年間は無料で修理いたします。お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。
- ●保証期間経過後の修理についても、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は修理(有償)いたします。

補修用性能部品の保有期間

- ●この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年です。
- ●その後の修理は補修用性能部品がなく、修理できない場合がありますのでご了承ください。
  ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、修理(有料)いたします。
  なお、補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。